

## 平成26年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> ■	<b>評価対象</b> ■	<b>新規</b> □	<b>完了事業</b> □	<b>ゼロ予算事業</b> □	<b>担当者</b>	千葉剛成
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	<b>実施計画事業費</b>	<b>内線</b>	3622
<b>事務事業名</b>	6080 市誌編さん事業						
<b>所 属</b>	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課						
<b>施 策</b>	04012000 生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	100601 教育費・社会教育費・社会教育総務費					
	<b>事業</b>	030000 市誌編さん事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
<p>市誌編さん事業は、市民が須坂市の豊かさや太古から現代までの先人の営みを学ぶことで、共感し、自ら発送し活動するための「ひとづくり」や「まちづくり」に寄与することを目的とする。</p>				<p>市誌編さんにあたり、歴史編の資料調査、地誌・民俗編の現地・文献調査を行い、収集した資料の活用と保存を図る。また、収集した資料の紹介や中間報告を兼ねた「文化・歴史講座」を開催し、市民へ生涯学習機会の提供や市誌編さん事業への理解を深める。 平成23年度に自然編、25年度に地誌・民俗編を発行し、平成28年度までに歴史編ⅠⅡⅢを発刊する予定。</p>			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

平成22年度 実績	平成23年度 実績
	須坂市誌第1巻「自然編」を発刊した。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
第2巻以降の執筆に係る調査研究活動	須坂市誌第2巻「地誌・民俗編」を発刊し、併せて歴史編Ⅰ～Ⅲの執筆準備のため、専門員及び各歴史分野の専門家による調査研究を進めた。 また個人などが所蔵する古文書等の情報収集及び整理・目録化を進め、史料の散逸防止を図った。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
第4巻「歴史編Ⅱ（近世）」調査・執筆及び歴史編Ⅰ・Ⅲの編纂に係る調査 個人などが所蔵する古文書等の情報収集及び整理・目録化による史料散逸防止	第5巻「歴史編Ⅲ（近現代）」調査・執筆及び歴史編Ⅰの編纂に係る調査 個人などが所蔵する古文書等の情報収集及び整理・目録化による史料散逸防止

指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		16,965	18,200
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	98	2,917
一般財源		16,867	15,283
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.2	0.3
	臨時職員	5.3	5.3
人員コスト	正規職員	685.8	685.8
	嘱託職員	545.0	817.5
	臨時職員	6,238.1	6,238.1
	計	7,468.9	7,741.4
市民一人当たりの経費		0.5	0.5
総額		24,433.9	25,941.4

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	4,217	市誌執筆謝礼、調査謝礼
11節 需用費	6,612	市誌「地誌・民俗編」・資料目録の印刷、消耗品
13節 委託費	180	コピー機点検委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,956	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	4,882	市誌執筆謝礼、調査謝礼
11節 需用費	5,636	市誌「歴史編Ⅱ」・資料目録の印刷、消耗品他
13節 委託費	243	コピー機点検委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	7,439	

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	市誌の刊行等により市民共有の文化的遺産を次代に継承する	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	市誌が市民に広く頒布されている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	市誌の印刷製本の発注にあたり、指名競争入札しているが、低価格で落札しており印刷製本費の縮減が図れた	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

計画どおり、市誌第2巻「地誌・民俗編」を発刊した

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
平成24年度から計画どおりに市誌（全5巻）の刊行が行われており、平成28年度までに全巻刊行予定である。 。		同左	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	